

1

今年度の結果と取り組みについて

(1) 全国学力・学習状況調査

○●国語●○

<p>国語A (領域ごと)</p> <p>① 話すこと・聞くこと やや課題が残る結果であった。</p> <p>② 書くこと 概ね良好な結果であった。</p> <p>③ 読むこと やや課題が残る結果であった。</p> <p>④ 言語事項 概ね良好な結果であった。</p> <p>(問題形式)</p> <p>① 選択式 やや課題が残る結果であった。</p> <p>② 短答式 概ね良好な結果であった。</p> <p>(無解答率) 概ね良好な結果であった。</p>	<p>国語B (領域ごと)</p> <p>① 話すこと・聞くこと</p> <p>② 書くこと やや課題が残る結果であった。</p> <p>③ 読むこと 概ね良好な結果であった。</p> <p>④ 言語事項</p> <p>(問題形式)</p> <p>① 選択式 概ね良好な結果であった。</p> <p>② 短答式 概ね良好な結果であった。</p> <p>③ 記述式 やや課題が残る結果であった。</p> <p>(無解答率) 概ね良好な結果であった。</p>
--	--

分析

- ・「言語」についての知識・理解・技能はできている。
- ・「話す・聞く能力」「読む能力」の正答率が低い。
- ・「コラムの中で筆者が引用している言葉を書きぬく」という問題での正答率が低く無回答率も高い。文章を読み込んで筆者の考えをまとめ上げる力が弱いと考えられる。説明文を低学年のうちからたくさん読み、論旨をまとめる習慣が必要と感じる。国語科以外でもたとえば低学年なら「日直のスピーチのあとの質問タイムや感想発表」や「朝会でのお話の後で何のお話であったかの振り返り」高学年であったら「さまざまな科目を通して話し合いやディベートなど盛り込んだ授業」を工夫していく。

○●算数・数学●○

算数・数学A

(領域ごと)

① 数と計算

概ね良好な結果であった。

② 量と測定

やや課題が残る結果であった。

③ 図形

概ね良好な結果であった

④ 数量関係

概ね良好な結果であった。

(問題形式)

① 選択式

概ね良好な結果であった。

② 短答式

概ね良好な結果であった。

(無解答率)

概ね良好な結果であった。

(その他)

全体的に概ね良好な結果であったが、体積の測定や作図についてやや課題があった。無回答率は比較的低かった。

算数・数学B

(領域ごと)

① 数と計算

やや課題が残る結果であった。

② 量と測定

概ね良好な結果であった。

③ 図形

概ね良好な結果であった。

④ 数量関係

概ね良好な結果であった。

(問題形式)

① 選択式

概ね良好な結果であった。

② 短答式

概ね良好な結果であった。

③ 記述式

概ね良好な結果であった。

(無解答率)

概ね良好な結果であった。

分析

- ・数と計算の領域はよくできている。
- ・量と測定の領域は、全国正答率より低かった。日常生活の中で必要な時刻を求める問題や分度器を使う問題など基礎基本の問題に課題がある。低学年からの基礎学力の定着をはかり繰り返しの練習時間をしっかり確保した系統立てた取り組みについて学校全体で考えていきたい。
- ・選択式の正答率が全国の平均より低かった。問題を最後までよく読まず、思い込みなどで解いてしまうことが原因と思われる。問題に慣れていくことも必要で低学年のうちから様々な文章問題に慣れさせ練習を続けていきたい。
- ・算数の応用力を伸ばすために問題解決学習と読解力の育成に努めたい。

理科

(区分ごと)

① 物質

やや課題が残る結果であった。

② エネルギー

概ね良好な結果であった。

③ 生命

概ね良好な結果であった

④ 地球

概ね良好な結果であった。

(問題形式)

③ 選択式

やや課題が残る結果であった。

④ 短答式

やや課題が残る結果であった。

(無解答率)

概ね良好な結果であった。

分析

- ・概ね良好であった。
- ・エネルギー、生命、地球の領域については、よくできていたが、物質の領域については、やや課題が残る結果となった。
- ・科学的な思考、表現、自然現象についての知識・理解もよくできていた。
- ・選択式の課題は、よく考えて解答をして無解答率も低かった。
- ・記述式で、グラフを読んだりこれまでの学習をもとに考察したり分析したりしてなぜその答えを導き出したかについては無答の児童もいて課題が残る。
- ・顕微鏡、メスシリンダーなど理科の器具の名称(短答式)、使い方、操作方法の理解に課題が残る。
(観察・実験の技能)

○●経年比較●○

全体的な傾向についての分析

- ・無回答率が昨年度改善され、いい形で学習意欲の高まりが定着してきつつあると考えたが今年度は、また高くなり根本的な問題解決となっていないことが大きな反省である。
- ・すべての教科において正答率が下がり、多くの課題を残している。とくに国語Aの低下が気になる。

学力高位層と学力低位層についての分析

- ・ここ数年本校では、学力高位層と低位層の開きが大きな課題であったが、その開きは縮まったものの高位層の全体数がかなり減少してきている。

○●取り組み●○

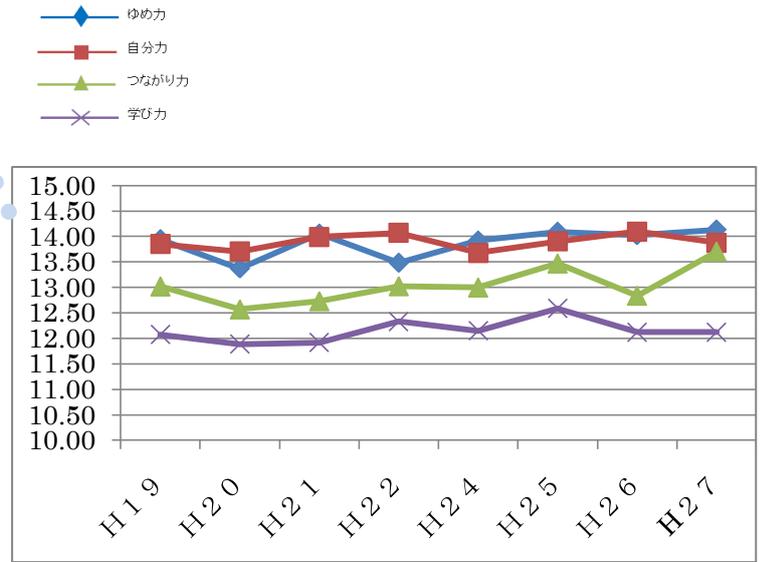
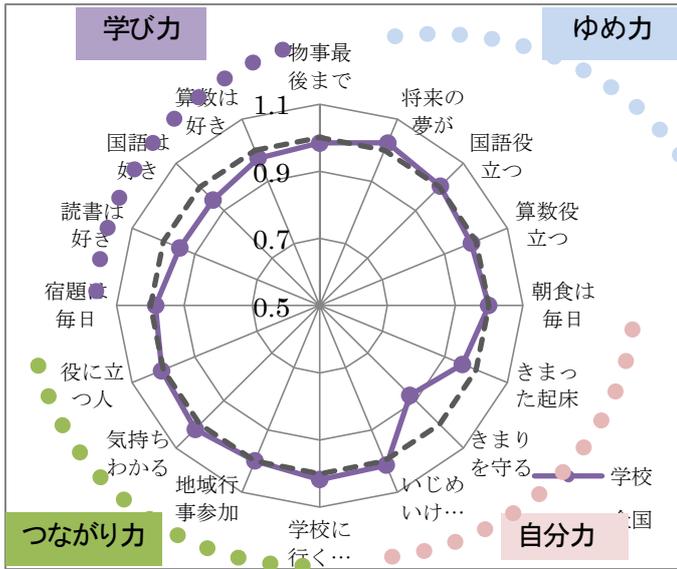
<学力向上に関する取り組み>

- ・『自ら考え表現できる子どもの育成をめざす』というテーマのもと、①言語活動を充実して思考力、判断力、表現力を高める②コミュニケーション能力の育成③獲得した知識や技能を活用する力の育成を目標とした、授業研究や研修会を展開していきたい。
- ・授業では、毎時間のめあてを明確にして学習をすすめ、問題解決学習やグループでの話し合い活動を重視していく。
- ・レインボータイム（年5回）、計算タイム（第2火曜日の朝）、玉櫛タイム（月・水曜日の朝学習）などの取り組みを通して、基礎的な学力をつけていく。
- ・毎週金曜日の朝の読書タイムやPTAと連携した「読み聞かせ」、また学期ごとの読書賞や感想文の紹介、読書カードなどを通して読書活動を充実させていく。また、3年生での水尾図書館の見学や夏期休業中に図書室を開放し（10日間）、本に親しむ機会を多くする。
- ・レッツ宿題週間（参観懇談の前後年2回）の機会に、家庭学習の大切さを、掲示物、宿題点検表や学校便りなどで各家庭にアピールしていく。
- ・不規則な生活の影響などにより、登校しづらいという児童の実態がある。「学校の生活時程を守り、登校する」ことを児童に粘り強く指導するとともに、保護者へ啓発していく必要がある。
- ・計算タイムにより一定の計算力は、ついてきたように感じる。分析からわかるように国語力をいかにつけていくかが今後の大きな課題と考える。読書を<読みっぱなし・させっぱなし>にさせず字数をきめて要約してみたり感想を書く習慣をつけていくことも大切である。
- ・学力の底上げを図るため支援サポーターや専門支援員等と連携し、個別支援を丁寧に進めていく。
- ・ユニバーサルデザインの導入、一日の予定を事前に提示するなど教室環境を整えていく。

○●子どもたちに育みたい力●○

今年度の結果

これまでの推移



分析

- ・ゲームを2時間以上している児童が30パーセントもいる。
- ・毎日同じ時間に起床・就寝の児童の割合が全国より26パーセント低い。
- ・学校のきまりを守る児童の割合が全国より26パーセント低い。
- ・家の人と話をする児童の割合が全国より8パーセント低い。
- ・国語が好き、読書が好きな児童の割合が全国より5パーセント低い。

取り組み

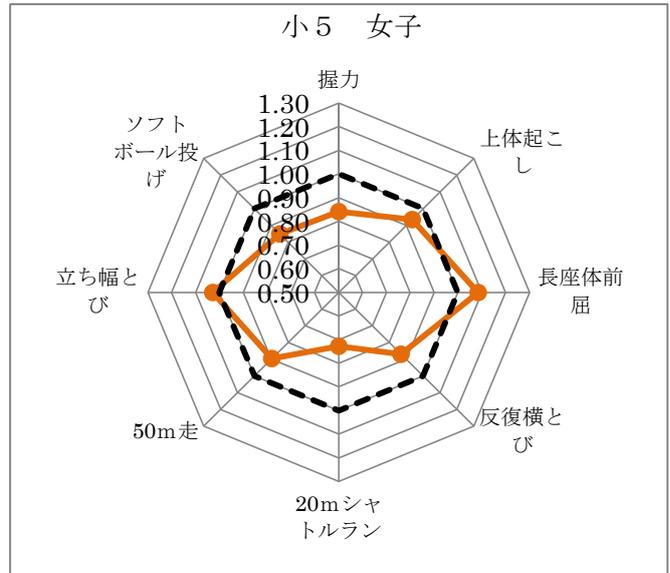
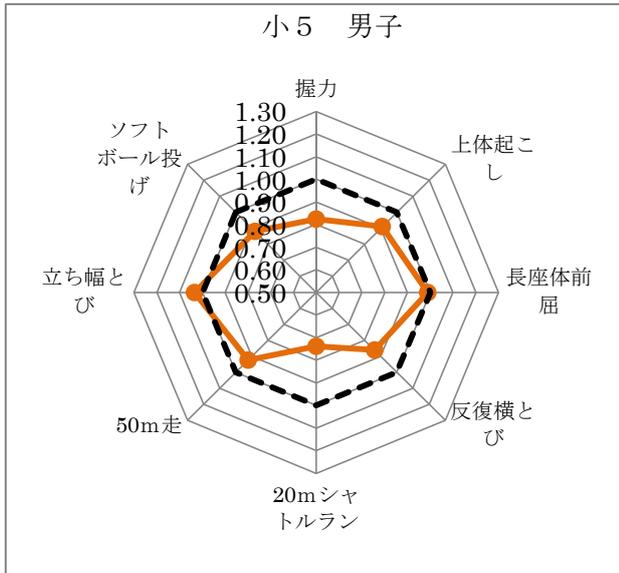
- ・近くに公共図書館があることから読書嫌いな児童が少ないという結果を予測したが実際は残念な結果となり今後有効で楽しめる読書活動のあり方を模索していく必要がある。そのためにも 総合の時間のみならずあらゆる教育活動で図書館や図書室を利用する機会を増やし児童の情報活用能力を向上させていきたい。
- ・家庭での学習内容や時間設定に課題がある。基礎学力の定着を図るためには、学校の取り組みだけでは限界がある。家庭学習（宿題など）の形を工夫したり家庭への協力を呼びかけたりしながら連携を深めていきたい。参観や交流会などの時間を有意義に活用したい。
- ・算数で考え方がわかるようなノートを書いている児童が全国的に比べて低い。学校全体で、ノート指導の方法を考えていく必要がある。ちなみに昨年度の夏の研修は、＜京女ノート＞で有名な吉永幸司先生を招いて研修を受けた。これからも全体で研鑽を積み重ねていきたい。
- ・自信を持って人前で発表するためには、自己肯定感を高めていく必要がある。あらゆる教育活動の場で ＜認め合う集団づくり＞と＜居場所づくり＞を進めていきたい

(2) 全国体力・運動能力、生活習慣調査

○●体力●○

男子 (小5 中2)

女子 (小5 中2)



分析

<生活習慣>

- ・体格的には、ほぼ全国平均である。
- ・朝食をきちんと食べている。
- ・テレビゲームやテレビの時間が長い児童が多い。
- ・睡眠時間が短い児童が多い。

<体力・運動能力>

- ・運動嫌いの児童は、わずかだが少なくなってきていて、徐々に体を動かす楽しさも広がってきているがまだ苦手意識を持つ児童もいる。
- ・4年生男子は、ソフトボール投げ・立ち幅跳び・50メートル走において全国平均より高い。
- ・4年生女子は、ソフトボール投げ・立ち幅跳びにおいて全国平均より高い。
- ・5年生は、立ち幅跳び・長座体前屈がほぼ全国平均である。これは、去年より成果が見られる。
- ・6年生は、反復横とびがわずかだが、全国平均より上回っている。
- ・6年生は、反復横とび以外は、全国平均より下回る。
- ・5年生は、立ち幅跳び・長座体前屈以外は、全国平均より下回っている。
- ・握力・20メートルシャトルランの記録に課題が残る。

取り組み

- ・生活習慣については、昨年に引き続き運動する機会を意図的にたくさん作り、体育の時間内の運動量を増やす工夫をしていく。また 休み時間の使い方も低学年から計画的に考え、学校全体で楽しみながら取り組んでいく。(縄跳びカード、マラソンカードの利用・ペア学級での遊び・みんなあそびなど)
- ・朝食や睡眠、テレビやゲームなどについては引き続きクラスで指導して、生活習慣を見直すようにする。
- ・体育の授業を苦手な児童も楽しめるように工夫改善していく。

2

3年間の計画

	学力向上	体力向上	中学校ブロック連携
目標	「わかった」「できた」という達成感 ～学習の楽しさを味わおう～	生活習慣の改善 ～体を動かす楽しさを感じよう～	自己肯定感の向上 ～集団づくりとコミュニケーション力を育てる～
平成26年度	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">自分の居場所を見つける。</div> <p>＜レインボータイム＞ たてわり活動の充実：自己肯定感を育む ＜計算タイム＞ 朝の学習：基礎学力の定着 ＜スマイルタイム＞ 教師によるロールプレイ：道徳教育の推進 ＜宿題点検週間＞ 家庭学習の指導・提案</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">生活習慣を見つめる</div> <p>・茨木っ子運動を紹介 (ビデオと朝会で) ＜児童会＞ ・なわとび大会(きょうだい学級) ・マラソンカード ・なわとびカード ・ジャンピングボード ・生活習慣について(保健委員会) ・朝会で茨木っ子運動をする</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小中合同授業研の開催 ・南中ブロックスタンダードの骨組みを作成 ・行事を共有し合う(研究授業、土曜参観、オープンスクール、創立記念日など) ・連携教員が各小へ行き、授業参観をして交流する。 ・連携通信の発行 ・公開授業の実施
平成27年度	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">自分の居場所を確立する。</div> <p>＜レインボータイム＞ たてわり活動の充実：自己肯定感を育む ＜計算タイム＞のふりかえり 朝の学習：基礎学力の定着 ＜スマイルタイム＞ 教師によるロールプレイ：道徳教育の推進 ＜宿題点検週間＞ 家庭学習の充実 ＜個別の学習指導体制の徹底＞ ＜授業研究＞ ・南中ブロックスタンダードに基づいた授業づくり ・子どもが「わかった」「できた」という達成感を得られる授業の実践</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">生活習慣について考える</div> <p>・茨木っ子運動の取り組み (ビデオ、朝会、授業) ・運動会の準備運動として、ドラえもん体操をする。 ＜児童会＞ ・なわとび大会 ・マラソンカード ・なわとびカード ・ジャンピングボード ・生活習慣について(保健委員会) ・朝会で茨木っ子運動をする</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・校区の小中学校が一同に介して、1小1中が公開授業研究を行う。 ・南中ブロックスタンダードを全体に広め、練り上げて完成させる。また、できることから実施する。 ・互いの行事を共有し合う(研究授業、土曜参観、オープンスクール、創立記念日など) ・いきいきスクールの実施 ・連携通信の発行 ・公開授業の実施
平成28年度	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">自分の居場所を広げる。</div> <p>＜レインボータイム＞ たてわり活動の充実：自己肯定感を育む ＜計算タイム＞のふりかえり 朝の学習：基礎学力の定着 ＜スマイルタイム＞ 教師によるロールプレイ：道徳教育の推進 ＜宿題点検週間＞ 家庭学習の充実・読書活動の充実 ＜個別の学習指導体制の充実＞ 「学習室」の有効的活用 ＜授業研究＞ ・南中ブロックスタンダードに基づいた授業づくり ・子どもが「わかった」「できた」という達成感を得られる授業の実践</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">生活習慣を改善する</div> <p>・茨木っ子運動の取り組み (ビデオ、朝会、授業) ・運動会の準備運動として、ドラえもん体操をする。 ＜児童会＞ ・なわとび大会 (きょうだい学級) ・マラソンカード ・なわとびカード ・ジャンピングボード ・生活習慣について(保健委員会) ・朝会で茨木っ子運動をする</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・校区ブロック全校が一同に介して公開授業研究を行う。 ・南中ブロックスタンダードの実践を通して検証を行う。 ・いきいきスクールの実施 ・互いの行事を共有し合う(研究授業、土曜参観、オープンスクール、創立記念日など) ・連携通信の発行 ・公開授業の実施